



看護技術スキルアップLearning Strategies

責任者：高橋 有里

共同者：高橋 和真，井上 都之，三浦 奈都子，鈴木 美代子，
及川 正広，藤澤 望，小向 敦子，及川 陽子
令和5年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

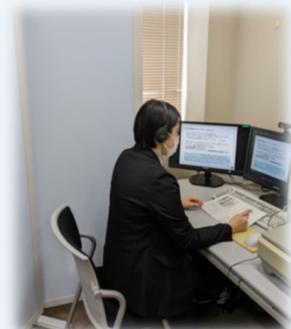
・活動の概要

看護職者が日々実践している看護技術に関する知識のリフレッシュ，技術のブラッシュアップのための支援やエビデンスに基づいた看護技術実践能力を培うための支援を行うことを目的として研修会を開催した。

開催日時	開催方法	テーマ・講師
10月5日(木) 9:00～12:00	対面	心電図・不整脈の読み方 高橋有里・及川陽子(岩手県立大学看護学部)
10月19日(木) 9:00～12:00	対面	脳神経系のフィジカルアセスメント 井上都之・松原綾奈(岩手県立大学看護学部)
11月6日(月) 9:30～12:00	Web	採血の基本・血液ガス分析 及川正広・小向敦子(岩手県立大学看護学部)
11月20日(月) 9:00～12:00	対面	臨床に活かすリンパ浮腫へのケア 鈴木美代子・藤澤望(岩手県立大学看護学部)
11月27日(月) 9:00～12:00	Web	胸部・腹部のフィジカルアセスメント 高橋和真・三浦奈都子(岩手県立大学看護学部)
12月18日(月) 9:30～12:00	Web	スキンケアとストーマケアのポイント 小野寺喜代(岩手県立磐井病院皮膚・排泄ケア認定看護師) 三浦奈都子(岩手県立大学看護学部)



対面開催：心電図講義・演習の様子



Web開催：採血講義の様子

・活動の成果

研修会の延べ参加者数は87名であった。テーマによってWeb形式だけでなく対面形式の研修を再開し，講師への質問のしやすさ，参加者との交流，演習によるイメージのつきやすさといった一定の評価が得られた。研修の満足度や理解度，実践応用への役立ち度も8割以上の参加者から高い評価を得ており，参加者が知識を深め，技術のブラッシュアップを行うために有意義であったと考える。

<研修後アンケート結果自由記述欄より>

- ◆「解剖生理から心電図の読み方まで1から順番に学べたため分かりやすかった(心電図)」
- ◆「受け持ち患者のアセスメントに使える(脳神経PA)」
- ◆「普段あまり深く考えず採血をしていたが，改めて知らない事が沢山あり非常に勉強になった(採血)」
- ◆「実技があってイメージしやすかった(リンパ浮腫)」
- ◆「図や実際の写真などがあり場面を想定しながら受講できた(胸腹部PA)」
- ◆「実践に活かせるような内容ばかりでとても勉強になった(スキンケア)」etc...

⇒患者への看護実践につながる新たな知識を得るなど，技術の学び直しとともに，職場で他職員への指導・共有など学びの還元に結びついていた。



対面開催：
脳神経PA演習の様子